



進路だより

第4号

2026年9月11日発行

宮城県東松島高等学校進路指導部

「面接に向けて」

主幹教諭

卒業年次の皆さん、いよいよ進学や就職に向けた時期となりました。この時期になると気になるのが面接だと思います。そこで今回は面接についての話をしたいと思います。

面接は、自分の考えや思いを直接伝えることができる大切な機会です。しかし、多くの人が緊張や不安を感じるものでもあります。だからこそ、特別なことをしようとするのではなく、「笑顔であいさつをすること」「相手の話をしっかり聞くこと」「自分の言葉で誠実に答えること」を意識したほうが良いと思います。

面接官は、完璧な受け答えを求めているわけではありません。みなさんがこれまで学校生活で努力してきたことや、将来に向けてどのような目標をもっているのかを知りたいと考えています。質問には落ち着いて答え、結論を先に伝えることを心掛けると、相手に分かりやすく伝わります。また、分からない質問があってもあわてる必要はありません。冷静に考え、自分なりの考えを伝えることが大切です。

面接は一日だけの勝負ではありません。これまで積み重ねてきた学習や生徒会活動、学校行事やアルバイトなど、みなさんの努力の成果を伝える場です。自分を信じて、堂々と面接に臨んでください。

面接の日が近づいてくると不安な気持ちが大きくなってくると思います。「物は考えよう」、良い方に考えていきましょう。不安な気持ちは、真剣に将来と向き合っている証拠です。十分な準備をしてきた自分に自信をもち、一步ずつ前に進んでいきましょう。

みなさん一人ひとりの努力が実を結び、希望する進路が実現することを心から願っています。頑張ってください。応援しています。

＜進路室より①＞9月からの動き

夏季休業が終わり、あっという間に9月中旬になってしまいました。卒業年次の皆さんは各々の進路に向けて本格的に動いている最中かと思われます。夏季休業中はAO入試のエントリーを済ませたり、応募前職場見学を行ったりとあわただしく、忙しい日々だったのではないのでしょうか。

就職を希望する皆さん、9月16日は就職試験解禁日です。9月4日に履歴書と調査書が発送され、いよいよ本番を迎えます。また、進学を目指す皆さんは各自面接や試験が始まっていると思います。体調やケガに気を付けて気合を入れていきましょう。

「成らぬは人のなさぬなりけり」

26 年次 F T

人生には様々な出会いがあり、いろいろな経験をして、人は少しずつ成長していきます。しかし節目は人それぞれ、その時々に出会いや選択によって変わることもたくさんあります。

私にもこれまで、ほかの人同様にいくつかの岐路がありました。高校入試、大学入試そして就職試験……。ですから「具体的な目標を設定しなさい」「何事も準備は早めにしなさい」等々、いろいろな人から教えられました。それでも、その人たちが言うように進められず、何度も悩み、立ち止まり、苦しみ、遠回りばかりしていました。

そのような中でいくつか気づいたことがあります。「自分はひとりではない」ということ。途方に暮れていた時期、支えてくれたのは家族でした。何を学ぶか迷っていた時、背中を押してくれたのは友だちでした。そして進むべき道の手がかりを教えてくれたのは先生でした。

また、改めて「自分」を信じるのが大切であることにも気づきました。かつて読んだ本「働き方」（稲盛和夫著）の中に次のような言葉があります。

「やれると信じて努力を続ければ、将来、必ずできるようになる。人間の能力というのは、けっして決まったものではなく、あくまでも『未来進行形』でとらえるべきものなのです。」

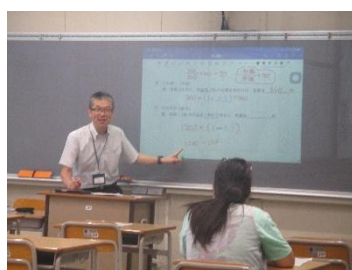
一歩踏み出せなかったとき、そこにはいつも自信のない「自分」がいました。思い悩んでいるときには周りを見てください。周りにはたくさんのサポーターがいます。そして進むべき道が決まったら、できると信じて努力してください。そうすれば自分が思い描いた未来を創り出すことができるはずです。簡単ではありませんが「なせば成る」です。



<進路室より②>進学就職対策講座がありました

夏季休業中、8月5日～7日の3日間、卒業予定生徒を対象に進学就職対策講座がありました。

生徒は自分の進路に合わせて、面接対策、小論文対策、履歴書・エントリーシート作成、SPI対策等の講座を段階ごとに設けられた講座を真剣に受講していました。



↳ SPI 対策の様子



↳ 面接練習の様子

